

第 20 表 郵便貯金現在高

本表は大阪府管内におけるものである。

年 度 末	総 額	普 通 貯 金		積 立 貯 金		定 額 貯 金 (割引、定期貯金を含む)	
		口座数	金 額	口座数	金 額	口座数	金 額
昭和 39 年度	140 918 390	5 240 027	63 682 512	681 635	12 007 708	7 680 333	65 228 170
40	171 767 901	5 332 484	71 882 039	695 629	13 557 833	6 940 149	86 338 028
41	213 181 233	5 448 214	82 693 859	719 251	15 269 105	7 069 105	115 218 270
42	275 397 170	5 593 705	98 438 617	753 749	17 669 252	7 755 038	159 289 301
昭和 43 年度	356 821 025	5 746 919	119 441 495	781 511	20 780 340	11 614 554	216 599 190

資 料 大阪地方貯金局。

第 21 表 大阪府資金融資状況

本表の小企業者事業資金常時特設は府あつせんによるものである。

年度中および区分	件 数			金 額		
	申 込	決 定	決 定 率	申 込	決 定	決 定 率
昭和 38 年度	...	20 718	16 218 417	...
39	...	28 834	29 044 224	...
40	29 021	17 207	82.5	36 062 381	23 371 873	64.8
41	...	29 352	27 329 435	...
昭和 42 年度	...	28 579	33 634 841	...
特別融資 {夏 季 年 末	3 799	3 654	96.2	5 725 435	4 128 800	72.1
小企業者事業資金常時特設	4 721	4 539	96.1	6 901 630	4 896 100	70.1
長期設備資金融資	12 655	11 860	93.7	10 199 140	7 370 060	72.3
緊急融資	719	700	97.4	2 223 120	1 708 000	76.8
商業手形割引特設	138	2	1.4	278 150	4 200	1.5
中小企業輸出振興特別融資	...	3 341	6 137 700	...
中小企業設備近代化資金	...	3 383	4 923 794	...
共同施設設置資金	1 604	1 073	66.9	6 979 834	1 876 887	26.9
工場等集団化資金	21	19	90.5	476 540	275 828	57.9
小売商業店舗共同化資金	5	5	100.0	1 113 472	1 113 472	100.0
卸売商業店舗集団化資金	3	3	100.0	1 200 000	1 200 000	100.0

資 料 大阪府商工部、金融課、工業課、通商課。

第 22 表 大阪府中小企業信用保証協会保証状況

本表には商工中金大阪支所の組合金融の分も含まれる。保証申込みは窓口において拒否したものは含まない。代位弁済は元利合計。

年 度 中	保 証 申 込		保 証 承 諾		保 証 現 在 高 (末)		代 位 弁 済	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
昭和 39 年度	50 157	67 513 731	49 002	60 176 643	40 481	41 284 067	1 650	649 398
40	52 107	77 820 310	49 105	66 079 184	43 471	51 808 168	1 986	1 022 916
41	54 216	85 329 350	51 935	72 512 920	49 062	65 075 025	2 019	12 307 602
42	64 970	103 875 566	61 777	88 247 646	61 379	83 760 021	2 713	2 285 832
昭和 43 年度	63 777	111 745 062	60 300	90 562 172	73 135	98 545 972	3 583	3 046 777

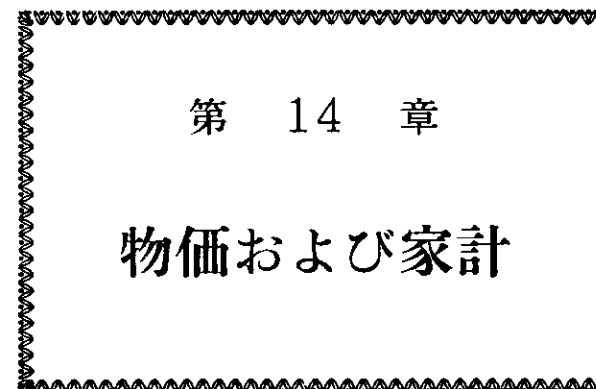
資 料 大阪府中小企業信用保証協会。

第 23 表 大阪市信用保証協会信用保証状況

本表の数字には大阪市特別融資の分も含まれている。

年 度 中	保 証 申 込		保 証 承 諾		保 証 現 在 高 (末)		代 位 弁 済	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
昭和 39 年度	20 869	29 656 237	19 973	25 849 994	17 243	18 001 767	748	302 213
40	23 229	33 092 859	21 566	28 076 778	18 239	20 240 578	849	376 116
41	24 712	38 507 899	23 606	33 648 338	22 260	27 406 070	899	393 143
42	28 615	47 757 178	26 964	39 504 963	23 216	35 429 225	1 225	797 677
昭和 43 年度	30 117	49 994 019	27 382	39 816 434	30 395	39 408 067	1 507	1 164 975

資 料 大阪市信用保証協会。



第 14 章

物価および家計

第14章 物価および家計

物価の概況

昭和43年の日本経済は、前年に引き続き大きく拡大した。しかし、卸売物価の全国平均は0.8%だけの上昇にとどまり、42年とは異なり非常に安定した動きを示した。

一方、消費者物価の全国平均は5.3%上昇し、最近では40年の6.6%上昇に次いで大きかった。これは米を中心とする食料と、雑費の値上がりがあったためである。

卸売物価の動向

昭和43年4月以降の大阪市卸売物価指数（昭和40年=100）の動きをみると、食料・飲料、家具・建具・什器、雑品は総じて堅調な動きを示したが、5月には主要品目が下落したため総平均で0.4%下落した。しかし、6月に入って繊維品、非鉄の反発によって4月水準まで戻し、その後8月から11月まで連騰したが、12月は鉄鋼、繊維品、建築材料が下がったため、総平均では0.8%反落した。

医薬品・化粧品、化学製品、鉱物・金属材料は指数が低く総平均を引き下げる役目をしているが、農畜産物・水産物、建築材料はそれが高く総平均を引き上げる役目を果たしている。

小売物価の動向

大阪市内小売物価指数（昭和40年=100）は107.7となり、前年に比べ3.5%の騰貴となった。このおもな原因としては、米、くだもの、鮮魚介を中心とする食料品、繊維品の値上がりと燃料の指数上昇とである。とくに、9、10月にかけて急騰しているが、11月総平均指数も前年同月比で4.5%の大幅な騰貴となっている。これは9、10月の食料品、11月の新聞代等の値上がりによる。

消費者物価指数

また大阪市消費者物価指数（昭和40年=100）は総合指数で114.7となり、前年に比し4.9%の上昇となった。この上昇は、主食、生鮮魚介、肉類、乳卵、加工食品、果物などの食料と保健衛生、教養娯楽など雑費の値上がりが主因となっている。

月別にみると、1・2月は野菜・果物などが連続的に上昇を示し、3月は魚介・保健医療が上昇を示した。ま

た、4月には国鉄運賃や授業料の引き上げのため、上昇要因が多かったが、乳卵その他の値下がりでも相殺された。5・6・7月は連続して下落したが、これは清酒・大人入浴料・たばこの値上がりがあったにもかかわらず、野菜・果物・乳卵の値下がりが大きかったためである。しかし8・9月は生鮮魚介・野菜・果物・乳卵が大幅騰貴を示した。10月は消費者米価の改定にもかかわらず生鮮魚介・乳卵・野菜・衣料などの値下がりにより下落したが11月は理容衛生・教養娯楽の値上がりにより、本年最高の指数となった。12月は野菜の大幅値下がりにより下落した。

家計費の概況

総理府統計局の「家計調査報告」によると、昭和43年における大阪市での全世帯（2人以上の世帯）の年平均1か月間の生計費（消費支出金額）は、6万7,979円で、前年の6万5,110円にくらべて4.4%のびた。またその内訳をみると住居・被服の10.0%増、食料の3.7%増、雑費の2.6%増、光熱の0.7%増となっている。

つぎに勤労者世帯の家計状況を見ると、まず実収入では1世帯平均8万4,247円で前年にくらべて3.1%増、実質の伸び率では2.1%減となった。また内容別では、世帯主収入が、前年にくらべて4.0%、実質の伸び率で1.2%減、その他の世帯員収入が、前年にくらべて7.3%減、実質の伸び率で12.0%減と大きく低下した。

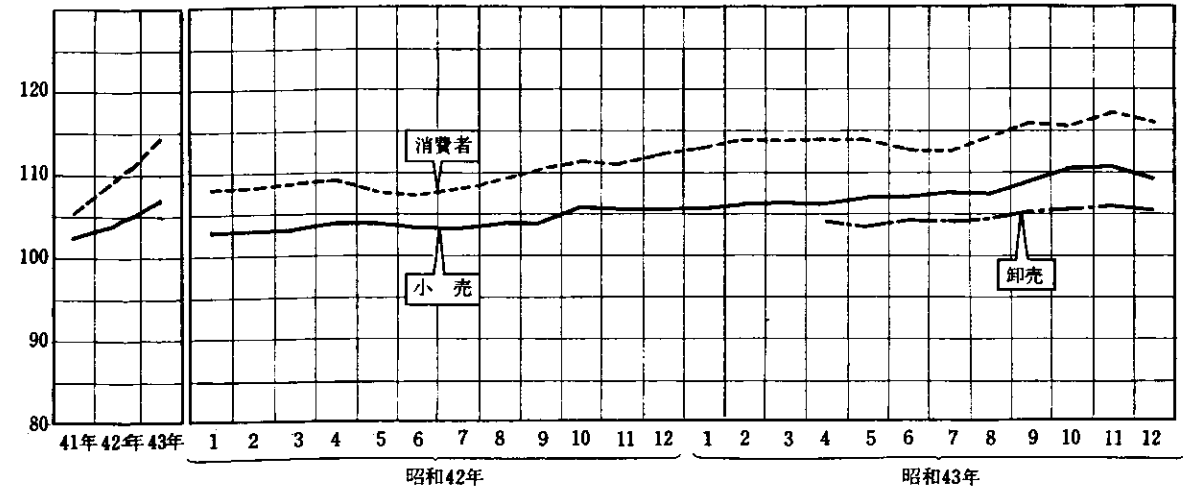
可処分所得（実収入－非消費支出）をみると、7万8,024円で前年にくらべて3.5%増となり実収入の伸びをわずかに上回ったが、これは勤労所得税についての基礎控除額、配偶者控除額の引き上げなどの減税策の影響も含まれる。

一方実支出の状況を見ると1世帯1か月平均実支出額は7万3,786円で前年にくらべ6.0%増で、非消費支出（税金、社会保険費等）は6,223円で、前年にくらべ1.9%減となった。また、実支出以外の支出（保険、貯金掛金、その他）は、2万5,550円で前年にくらべ8.7%増となっている。

このような勤労者世帯の家計収支バランスを見ると、平均性消費性向（消費支出金額÷可処分所得）は、86.6%と前年の83.9%より高くなっており、また反面黒字は1万0,461円で、前年の1万2,165円より14.0%減となっている。

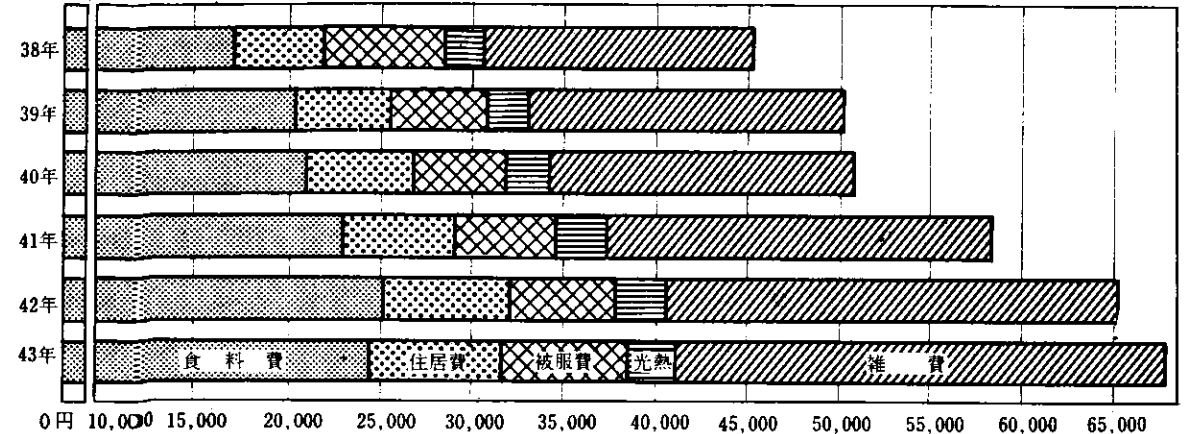
物価指数のうごき

卸売物価・昭和40年=100 小売物価・昭和40年=100 消費者物価・昭和40年=100 第1, 2, 3表参照



消費支出金額のうごき

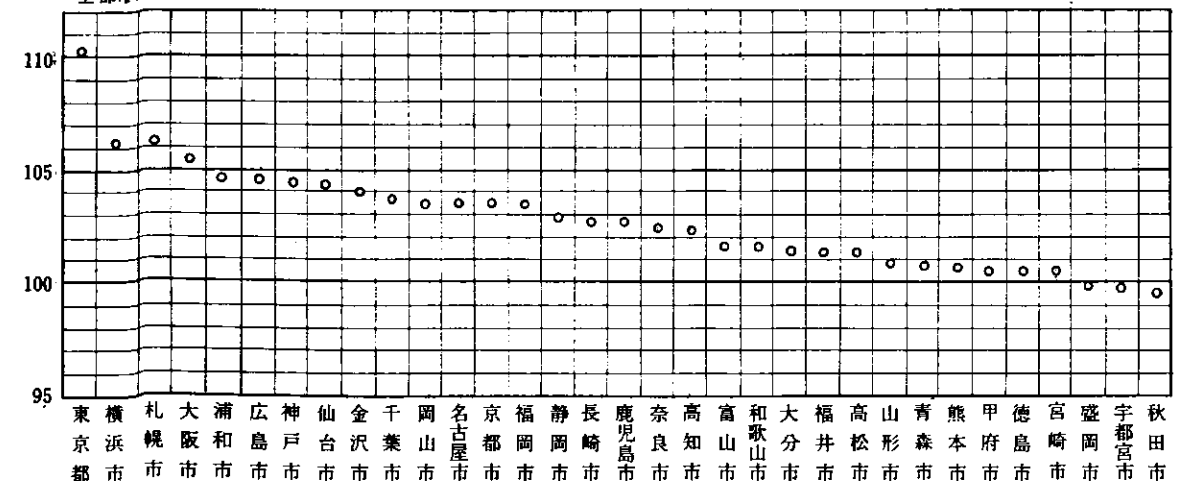
1世帯当り年平均1ヵ月間（大阪市）



消費者物価の地域差指数（総合）

全都市=100

第6表参照



第3表

消費者物

本表は総理府統計局の作成によるもので、都市に居住する一般消費者の生計費に影響をおよぼす物価水準の変動を測ら得られ、算式は基準時加重相対法算式（ラスパイレズ式）である。

Table with columns for 費目 (Category), ウェイト (Weight), and 昭和39年平 (Average 1964), 昭和40年平 (Average 1965), 昭和41年平 (Average 1966), 昭和42年平 (Average 1967), 昭平均 (Average), and 1月 (January).

価指数 (大阪市)

定することを目的としている。価格資料は小売物価統計調査から、ウェイトは昭和40年における家計調査の品目別消費支出金額か

Table with columns for 和 (Year) and 43 (1963), 年 (Year), and months 2月 through 12月 (February through December).

第6表

日用品の小売価格お

本表は「小売物価統計調査」に基づき、本府が収集して総務府統計局へ提出した調査資料の副票により、府で作成したものである。

Table with columns for Year/Month and various food items like rice, flour, and seafood. Includes data for昭和39 and 43 years.

Table with columns for Year/Month and various food items like meat, dairy, and eggs. Includes data for昭和39 and 43 years.

よび生活用務の料金 (大阪市)

Table with columns for various services and items like haircuts, laundry, and food. Includes data for昭和39 and 43 years.

Table with columns for various food items like vegetables, fruits, and nuts. Includes data for昭和39 and 43 years.

第6表

日用品の小売価格お

Table of daily necessities prices including categories like 砂糖 (sugar), 板ガラス (glass), 障子紙 (paper), 水道料 (water), 飯茶わん (tea), and さら (sara).

Table of clothing prices including categories like 炭 (charcoal), 灯油 (oil), 替ズボン (trousers), レイコート (coats), 学生服 (school clothes), 婦人セーター (sweaters), ワイシャツ (shirts), 男子合シャツ (men's shirts), and 男子冬シャツ (men's winter shirts).

障子紙※手すき、さら※和ざら径15cm、木炭※6kg、石炭※かます入り(50kg)、学生服※詰襟上下・大学生用並型(表

よび生活用務の料金 (大阪市) (続)

Table of utility and service charges including categories like 電気代 (electricity), ガス代 (gas), まき (firewood), 木炭 (charcoal), and 石炭 (coke).

Table of clothing prices including categories like 男子くつ下 (men's socks), 婦人長つ下 (women's socks), 婦人白たび (women's undershirts), 一越ちりめん (chirimen), キャラコ (characo), 綿ネル (cotton neri), ベンベルグ (benberg), ウーステッド (woolsted), タオル (towels), 毛糸 (wool), and ぬい糸 (knitting wool).

地) サージ(毛100番)裏付、ワイシャツ綿※60番地

第 6 表

日用品の小売価格お

Table of retail prices for various household goods including clothing (suits, shirts, jackets), shoes, and accessories. Columns include item names and prices for different years and months.

Table of retail prices for transportation services such as taxis, buses, and train fares. Columns include service types and prices for different years and months.

感冒薬※抗ヒスタミン剤「ベンザ(25錠入)」、ノートブック※A5判

よび生活用務の料金 (大阪市) (続)

Table of utility and service charges in Osaka City, including haircuts, laundry, dental services, and other household expenses. Columns list the service and its corresponding price.

Table of utility and service charges including stationery (notebooks, pens, pencils), newspapers, movies, and film. Columns list the item and its price.

第9表

1世帯当り主要生活

第8表項注参照のこと。本表は「品目分類」により「家計年報」に掲載されたものを抜粋したものであるから全品人員は第7表第10表を参照されたい。清酒、ウイスキー、茶わん、さら、洗たく石けん各欄は、特級酒、1級清酒、2人、さらを合計したものを茶わん、さらとし、粉石けん、その他の洗濯石けんを合計したものを洗たく石けんとし掲載

Table with multiple columns for household expenses: 都 市, 内地米(配), 内地米(非), パン類, 粉類, ゆでうどん, あじ(生), いわし(生), さば(生), さんま(生), おり(生), いか(生), まぐろ(刺身), キャベツ, ほうれ草, はくさい, ねぎ, 甘しょ, 馬鈴, 大根, にんじん, 玉ねぎ, さや豆, きゅうり, トマト, みそ, 白砂糖, 食用油, マーガン, 化学調味料, ビケット, キャラル, あめ, せいの, 和菓, 洋菓, みかん, ワイシャツ(男), 下着(男), 下着(女), 下着(子供), かつ下(男), 長つ下(女), ソックス(女), かつ下(子供), 木綿地, 化繊地, 毛織地, タオル

用品の年間支出金額 (大阪市)

目ならびに数量、価格の詳細な区分については同年報によられたい。なお、本表の単位はいずれも(円)世帯数および級清酒、合成清酒を合計したものを清酒とし、1級ウイスキー2級ウイスキーを合計したものをウイスキーとし、茶わしたものである。なお東京都は区部のもの。

Table with multiple columns for annual household expenditure: 煮干, 塩さけ, けずり節, たらこ, 牛肉, 豚肉, 鶏肉, 鯨肉, ハム, ソーセージ, 牛乳, バター, 鶏卵, あづき, 乾しいけ, 乾のり, こんぶ, 豆腐, 油あげ, こんにゃく, ちくわ, たあん漬, 魚かん, 介詰, 肉かん詰, 果かん詰, 物詰, しょう油, りんご, なし, ぶどう, すいか, 清酒, ビール, ウイスキー, 緑茶, ジュース, 茶わん, 木炭, 石油, 氷, 毛糸, ぬい糸, ふとん, 感う, ぼ葉, 栄養剤, 脱脂綿, 化粧石けん, 洗たく石けん, ちり紙, 新聞代, 雑誌代, 映観, 画料, たばこ

第 10 表 全世帯平均 1 カ月間の消費支出額 (全国・主要都市)

本表は「家計調査」によるもので、この調査は170市町村を抽出し、毎月調査している。なお、本表のうちイタリック体の数字は現物評価額を示し、それ以外は現物を含んでいない。又全国は人口5万以上の都市の平均である。

項目	昭和 40 年						昭和 43 年					
	全国	東京	横浜	名古屋	京都	神戸	全国	東京	横浜	名古屋	京都	神戸
消費支出総額	51 832	62 998	58 948	53 415	51 112	53 959	63 607	75 455	75 846	69 625	63 728	77 171
食料費	19 738	23 091	21 370	20 444	21 254	20 186	22 585	26 517	26 230	24 483	26 211	26 047
穀類	4 352	4 160	4 236	4 705	4 968	4 126	4 508	4 272	4 562	4 877	4 909	4 356
その他の食料	15 386	18 931	17 071	15 739	16 286	16 087	16 225	19 355	19 395	19 606	21 303	21 697
住居費	5 157	6 331	5 740	5 690	5 240	6 533	7 404	8 854	8 050	8 561	6 812	8 353
光熱費	2 389	2 667	2 510	2 642	2 752	2 289	2 808	3 045	2 824	3 197	3 119	2 977
被服費	5 916	7 338	6 420	5 713	5 415	5 944	7 049	8 418	7 683	7 416	6 679	8 623
雑費	18 632	23 571	22 971	18 926	16 451	19 007	23 761	28 621	31 059	25 968	20 907	31 172
非消費支出総額	4 502	5 273	6 548	5 599	4 365	4 532	5 412	6 654	6 907	7 528	4 547	8 239
(内)勤労所得税	1 546	2 036	2 380	2 062	1 761	1 742	1 558	2 316	2 584	2 584	1 418	3 118
(内)その他の税	1 275	1 726	2 440	1 487	1 141	1 022	1 423	2 077	1 742	1 841	1 167	2 244
現物消費支出総額	2 779	3 831	2 960	2 768	2 168	2 497	3 522	4 911	4 313	4 126	2 607	3 583
世帯数	8 033	397	131	143	118	105	7 025	399	129	143	117	103
世帯人員(人)	4.24	4.36	4.30	4.30	4.15	3.97	4.07	4.12	4.15	4.12	4.04	3.98
有業人員(人)	1.66	1.68	1.71	1.77	1.73	1.51	1.67	1.68	1.63	1.80	1.74	1.52

資料 総理府統計局 (家計調査年報)

第 11 表 勤労者世帯平均 1 カ月間の実収入・実支出額 (全国・東京都)

前表頭注参照のこと。但し、本表は勤労世帯に限ったものである。

項目	昭和 41 年		昭和 43 年		項目	昭和41年平均		昭和43年平均	
	全国	東京都	全国	東京都		全国	東京都	全国	東京都
収入総額	105 194	122 619	135 657	144 953	支出総額	105 194	122 619	135 657	144 953
実収入	71 347	83 971	88 974	97 393	実支出	59 873	71 892	74 274	82 181
勤め先収入	66 585	78 422	83 099	89 953	消費支出	53 599	63 274	66 968	73 213
世帯主収入	59 189	73 580	74 208	84 841	食料費	18 850	21 804	22 173	24 539
(内)定期	46 523	57 603	57 598	65 846	穀類	4 122	3 783	4 296	3 904
(内)臨時	12 613	15 930	16 545	18 968	その他の食料	14 728	18 021	11 250	12 705
妻・その他の世帯員収入	4 336	4 842	8 892	5 112	住居費	5 800	6 388	7 340	9 073
事業・内職収入	1 727	2 389	2 349	3 357	(内)家賃・地代	1 531	2 457	2 164	3 718
その他実収入	3 035	3 160	3 526	4 083	(内)家具・什器	2 979	2 703	3 622	3 680
(内)財産収入	663	1 064	-	1 066	光熱費	2 404	2 744	2 547	2 893
(内)社会保障給付	408	232	-	322	被服費	6 010	6 896	7 376	7 619
実収入以外の収入	12 270	13 453	18 309	19 090	雑費	20 535	25 442	27 533	29 090
(内)貯金引出	7 785	9 958	-	13 613	(内)保健・衛生費	2 873	3 488	3 608	3 833
(内)月賦・掛買	2 983	2 124	-	2 858	(内)教育費	1 770	2 599	1 842	2 152
前月からの繰入金	21 577	25 195	28 374	28 470	(内)教養娯楽費	3 728	5 091	4 787	5 643
					(内)交際費	3 262	3 875	4 350	4 935
現物実収入総額	3 088	4 371	3 758	5 047	非消費支出	6 274	8 618	7 306	8 968
					(内)勤労所得税	2 111	3 730	2 271	3 475
					(内)その他の税	1 433	2 161	1 699	2 374
世帯数	7 389	244	5 121	244	翌月への繰越金	22 782	26 207	29 787	30 003
世帯人員(人)	4.07	4.05	3.93	3.89	現物実支出総額	3 088	4 371	3 758	5 047
有業人員(人)	1.54	1.51	1.53	1.50					

資料 総理府統計局 (家計調査報告)

第 15 章

賃金および労働